



認定番号0000418

# 環境活動レポート

第 42期<<H28.5～H29.4>>



目 次		ページ
	表 紙	
1	組織の概要	1
2	対象範囲	1
3	環境方針	2
4	環境目標	3
5	環境目標の実績	3
6	過去実績推移	4
7	環境活動計画 取組結果・評価・次年度取組内容	5
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	6
9	代表者による全体評価と見直しの結果	6

2017年10月5日

クニオ商産株式会社



### 3. 環境方針

#### 環境方針

#### 基本理念

クニオ商産株式会社は、包装資材・梱包資材・物流機器・及び化成品全般の販売を事業活動の柱とする総合商社として、地域の発展に貢献する企業を目指します。

#### 方 針

当社は環境保全が事業活動における重要課題のひとつであると認識し、以下の通り行動方針を定めて環境保全活動を行います。

1. 環境活動推進の重点項目として、下記4項目については数的目標を定めて継続改善と維持を図る。
  - ① エコロジー・リサイクル商品の販売拡充に努め、商品・市場のグリーン化に寄与する。
  - ② 省資源・省エネ活動を通じて、二酸化炭素排出量を削減する。
  - ③ 取扱い商品から発生する廃棄物の削減及び資源化、リサイクルの促進をはかる。
  - ④ 節水に努力する。
2. 環境に関する法律及び条例並びに協定を遵守する。
3. 会社内外の清掃、美化運動の推進をする。
4. この方針は全従業員に教育し、周知徹底を図る。
5. この環境方針は社外の要求に応じて公表する。

制定 2004年 12月 24日  
改正 2009年 10月 1日

代表取締役社長

金原隆一

## 4.環境目標

環境目標は、第40期実績を基準とした第42期以降の目標を設定しました。  
各年度目標は前年目標に0.99を乗じています。売上高は40期と同じという前提です。  
環境配慮商品は販売高評価に変更し、目標も90%以上と致しました。

環境目標	目標 単位	基準年	28年度目標	29年度目標	30年度目標	31年度目標	前年 目標 比	
		第40期 H26.5/27.4	第42期 H28.5/29.4	第43期 H29.5/30.4	第44期 H30.5/31.4	第45期 H31.5/32.4		
①CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub>	25.2	24.7	24.4	24.2	23.9	0.99	
	購入電力	t-CO <sub>2</sub>	6.38	6.25	6.19	6.1	6.07	0.99
	ガソリン	t-CO <sub>2</sub>	18.8	18.4	18.2	18.1	17.9	0.99
②廃棄物 総排出量	一廃	t	0.14	0.14	0.14	0.1	0.13	0.99
	産廃	t	1.11	1.00	0.99	1.0	0.97	0.99
③水使用量	t	71.0	節水に努力する					
④環境配慮製品	%	82.6%	90%以上					
⑤グリーン購入			配慮する					

注)

- 1) 購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、中部電力H26年度調整後実排出係数0.482kg-CO<sub>2</sub>/kWhを過去に遡って使用しています。2) 環境配慮製品の定義は当社独自の判断によるもの。
- 3) グリーン購入(事務用品)は当面数値を設けず配慮して購入し、実績を把握していくこととする。

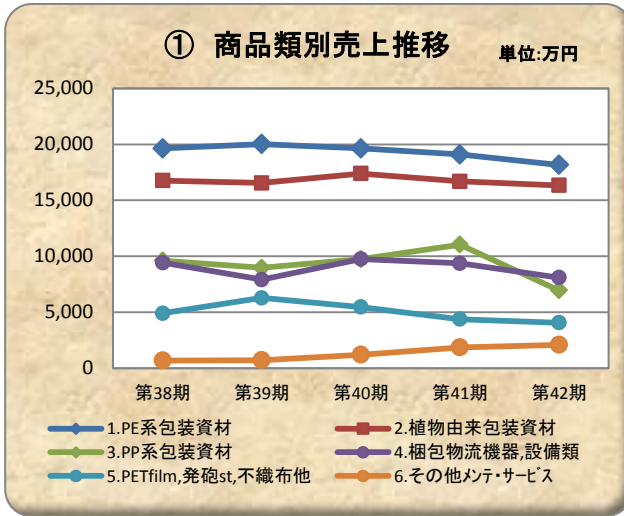
## 5. 環境目標の実績

### (1) 当期の実績について

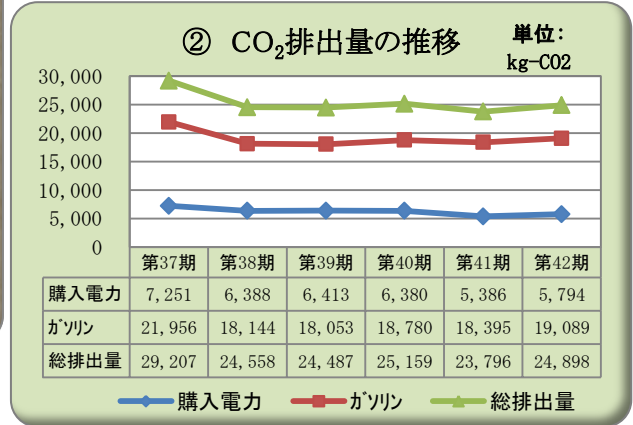
環境目標	単位	27年度実績	28年度目標	28年度実績	目 実 比	※ 評1	※ 評2	原因等	
		第41期参考 H27.5/28.4	第42期(A) H28.5/29.4	第42期(B) H28.5/29.4					B/A
①CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	23.8	24.7	24.9	1.008	△	△	原単位目標は売上 減による未達成	
	購入電力	t-CO <sub>2</sub>	5.39	6.25	5.79	0.926	○		△
	ガソリン	t-CO <sub>2</sub>	18.4	18.4	19.1	1.036	△		△
②廃棄物 総排出量	一廃	t	0.33	0.14	0.33	2.405	△	△	塵芥ごみが主
	産廃	t	1.10	1.00	0.75	0.750	○	○	仕入先に対して引き 取り要請交渉
③水使用量	t	69.0	節水	68.0	0.986	○	△	節水できている	
④環境配慮製品	%	80%以上	90%以上	99.0%	1.025	○	○	基準再見直し	
⑤グリーン購入	%	配慮	配慮	配慮	...	○	○	事務用品対象 配慮できた	

※評1; 単純排出量比較でB/Aが1.000以下は目標達成。但し増加目標はその逆となります。  
※評2; 売上原単位(百万円当り)評価で、B/Aが0.893(=当期売上/基準年売上)以下であれば  
目標達成○印。増加目標項目はその逆となります。目標未達は△印とする。

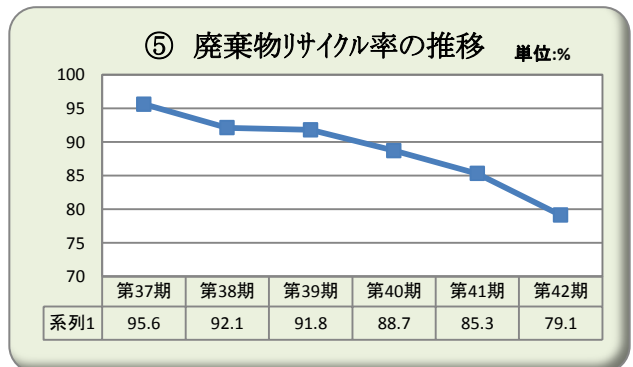
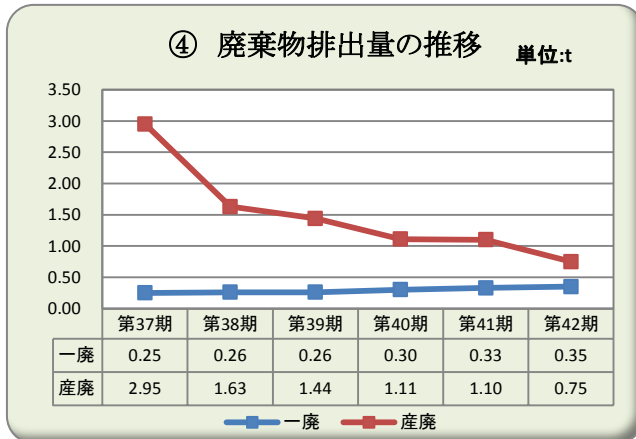
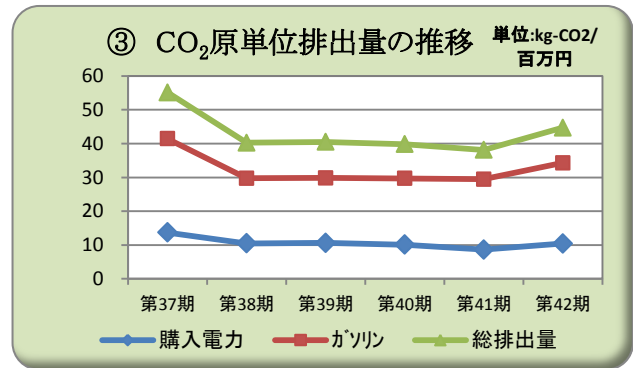
## 6.これ迄の環境目標の実績推移



①評: 第42期は売上合計で前年比約1割減。大きな課題ですが内的要因は営業マン2名交代のための非効率の影響。外的要因もあるが、まずは社内の教育からと判断しています。



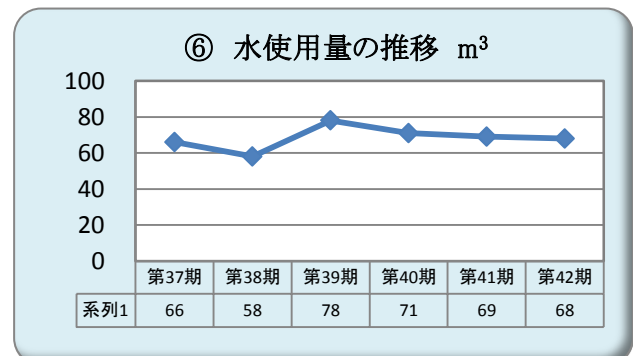
②③評: 温室効果ガス排出量も今期は約4.6%増。①と同様、新人の不慣れのための影響で暫く続くと予測している。更に売上減の影響大きく、原単位排出量は大幅アップとなった。今までのエコ運転を徹底し計画的な顧客訪問を徹底する様教育に努力いたします。



④評: 産廃は廃プラと段ボールのみ、紙管と段ボールの廃棄物が無くなりました。一廃はコピー用紙と厨芥ごみです。

⑤評: 厨芥ごみを単純燃焼としているため一廃も産廃合わせたリサイクル率は低下傾向ですが、全体量が減少のためです。

⑥評: 今年度も、エアコンの配水を散水に活用、社用車の洗車はGSでの簡単な洗車を実施、節水は維持されております。





## 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反はありません。  
また関係機関及び利害関係者からの違反、訴訟等も、過去3年間ありませんでした。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 1) 見直しに関連する取組状況について

No	項目	評価・コメント等
1	エコアクション21文書、記録等	文書・記録の内容は正確に記録されています。
2	環境目標及び目標達成状況	廃棄物の総排出量は計画以上、今後も努力継続する。
3	環境活動計画及び取組実施状況	環境経営をよく理解し、内容の充実をはかっていきます。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守事項	変更ありません。記載通りです。
5	外部コミュニケーション・対応記録	苦情等はありませんでした。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	売上減の課題はありますが、新人教育OJTに取り組んでいます。
7	取引先、業界、関係行政機関からの情報	物流問題、人手不足、海外経済環境の不安要因、難題山積です。

環境管理責任者 伊東 徳明

### 2.全体評価及び見直し指示について

#### 1) 全体評価について

当社の置かれている状況は、ますます厳しいものになっています。  
商品コストに対する厳しい目や、人手不足を背景とする物流費の上昇等  
今で以上の努力が求められています。  
地域と共に発展し、より良い社会環境を追究し続けながら、  
全社員の力を合わせて社業の発展に努めてまいります。

平成 29年 10月 3日 代表取締役社長 金原 隆一

#### 2) 見直し指示について

下表の通り、まとめました。

No	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
2	環境目標・計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
3	環境活動計画・取組項目	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
6	その他(外部への対応))	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

2017年10月3日  
環境管理最高責任者  
代表取締役社長 金原 隆一